

鹿嶋・神栖地域ピーマン産地代表者会議を開催しました

令和6年3月7日（木）、JAなめがたしおさい地域センターにて、令和5年度 鹿嶋・神栖地域ピーマン産地代表者会議を開催し、ピーマン生産者組織（JA、任意組合）の代表者をはじめ、JA、市、県等関係機関から計26名が参加しました。

この会議は、ピーマンの国内最大の産地である鹿嶋市・神栖市の地域が安全・安心なピーマンを消費者へ供給し、産地の発展を図るべく、生産者組織と関係機関が協力し合い、情報共有や適切な病害虫対策に取り組むことを目的に開催しました。

会議では、今年度の活動内容として、ウイルス病の発生状況やウイルス病対策の実施状況（講習会の開催や資材販売店・青果物卸売業者へのウイルス病対策の協力依頼等）を普及センターから報告し、病害虫対策に対する情報の共有を図りました。さらに、次年度の取り組みについて協議しました。また、現地が抱えている課題や要望などを話し合いました。

中でも、難防除病害虫（モザイク病や黄化えそ病）対策は今後も継続して取り組む重要な課題であり、生産者個人だけの対策では難しく、生産者組織と関係機関が連携し合い、産地一丸となって感染拡大を防止していく体制を強化していくことを確認しました。

普及センターでは引き続き、関係団体と連携し、現地が抱える課題の解決に向けた活動を続けていきます。

銚田地域農業改良普及センター

